

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003.09.17

参加者 倉橋（西大寺南小）三辻（彦崎小）松本（国府小）福井（伊島小）

【マルチトラックレコーダー】松本

CDの音楽やマイクの音声などを入力し、音程を変えたりエコーをかけたりするエフェクターの機能といくつかの音源を合わせるミキサーの機能、そしてそれらをデジタルで録音する機能。コンパクトな機械の中に色々な機能がぎっしりと詰まっています。この機械を使うと、例えば運動会の表現用にCDから音楽を録り、子供の声とリズムマシンの手拍子を重ね合わせてスマートメディアに記録する。そして練習の初期にはクラップ（手拍子）を強調してリズムをとりやすくしたり、速度を遅くして踊りやすくしたりします。デジタルなので重ね合わせても音質の劣化が少なく、速度を変えても音の高低も変わりません。またCD-RやMDにもダビング可能です。これを使いこなせると便利でしょうね。



【プラとんぼ】福井

たのしい授業7月号に載っていたプラスチック（ポリプロピレン：PP）のできた竹とんぼ。PPシートで買うと1枚B3サイズで500円位ですが、100円ショップのB4版リングファイルなら同じ材質で安くできます。（100円で1学級分）重さと大きさもちょうど良く、勢いよく天井まで上昇します。上のアイロンビーズは安全のためです。



【6年生 生き物のくらしと環境】福井

運動会の特別時間割でドタバタしているなか、6年生では生き物のくらしと環境という単元を学習しています。これは1学期に学習した「ものが燃える時には酸素が使われ二酸化炭素ができること」「動物は酸素を吸って二酸化炭素を吐くこと」「植物は日光を受けでんぶんを作り出すこと」などをまとめ、生き物と空気・水・食べ物の関わりをとらえさせることを目標にしています。福井は、子供達に八切りの画用紙を渡して「宇宙船に乗って遠い星を目指します。何百年間もかかる長い旅ですが、途中で何も補給することはできません。この宇宙船の中でいつまでも暮らしていくには、どんな物を



載せておかなくてははいけませんか？」と課題を出しました。子供達は食料として豚や牛が必要だと描きましたが、1人が「でも食ってしまったらおしまいだ」とつぶやいたのをきっかけにリボンをつけた豚(メス?)を描き足すなど工夫しながら宇宙船の設計図を描いています。…ところで年度末には『人と環境』という単元があり全く同じことをするのですが一体どうしたものでしょう。また、この単元には植物が二酸化炭素を吸収して酸素を出すことを調べる実験がありますが、教科書の写真のような根のついたコマツナなんてどこを探しても売っていないし、鉢やペットボトルにビニール袋をかぶせて輪ゴムでとめただけでは空気がもれたのか光合成をしたのか分からない。困ったものです。